

令和7年度（2025年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

【B日程入試】法律専門科目試験

憲法 採点基準

問題1 20点

公務員における憲法上の権利保障の意義を踏まえつつ、本件が政治活動の自由に対する制約である点を適切に提示できている場合には5点を配点する。また、本問の事案に関しては、最二小判平成24年12月7日刑集66巻12号1337頁および最大判昭和49年11月6日刑集28巻9号393頁の判旨を踏まえた上で、適切な判断枠組みを提示できている際には5点を配点する。その上で、上記の判断枠組みに基づき、最二小判平成24年12月7日刑集66巻12号1722頁と本事案との違いを踏まえた上で、明確な論証がなされている場合には10点を配点する。

問題2 5点

統治行為論の定義につき、国家統治の基本に関する国家行為である統治行為につき、法律上の争訟性を満たしていても、高度に政治性のある問題の場合は司法審査を行わないという趣旨の説明が明確になされている場合には、3点を配点する。関連して、最大判昭和34年12月16日刑集13巻13号3226頁又は、最大判昭和35年6月8日民集14巻7号1206頁の判旨に関して適切な言及がなされていれば、2点を配点する。